

学校教育計画（令和6年度～令和9年度）

学校名	綾瀬西高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制・普通科
-----	---------	------------------	---------

1 学校のミッション

- 全日制普通科の高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の自己実現に應えるため、学年制によるカリキュラム・マネジメントを推進し、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。
- 共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切に教育課程を編成する。不断の授業改善を通して主体的に学ぶ意欲を高めるとともに、生徒一人ひとりの個性を尊重し、多様な教育的ニーズに 대응することができる教育活動を推進する。また、これまで本校で取り組んできた福祉教育をさらに充実させ、推進する。
- 通級による指導の導入校として、特別の教育課程の編成とそれに伴う指導の実践により、生徒の多様な教育的ニーズに即した、より適切な指導及び必要な支援に取り組む。

2 学校教育目標

- 次の4つを柱にして、いつの時代にも通用する「生きる力」を身に付ける。
- 主体的・対話的で深い学びを通して基礎学力を伸ばすとともに、ICTの活用を推進し、情報社会を生き抜く人材を育成する。
 - 個性に応じた生活指導・進路支援を推進し、通級指導をはじめとした支援システムを活用して生徒一人ひとりのキャリア形成を図るとともに、社会の一員としての規律・マナーを守り、自らの行動を律することができる人材を育成する。
 - 「福祉の心」を身に付け、他者を尊重し、協働して地域社会に貢献できるとともに、共生社会の実現に資する人材を育成する。
 - 部活動の質の向上と活性化を図り、他者と協働しながら、目標に向かって挑戦する人材を育成する。

3 計画策定時点での課題

- 継続的な生活指導により生徒に落ち着きが見られるようになり、学習に対し前向きに取り組む姿勢がみられるようになってきたが、基礎学力の定着にはまだ課題がある。
- 新学習指導要領の実施に伴い、教育課程の特色であるアドバンスタイムや福祉教育を充実させ、教育活動の質の向上を図るカリキュラム・マネジメントの推進が求められている。
- プロジェクターやスクリーンを活用する授業が定着しつつある。今後はBYODの実施に伴い、chromebookの授業等における効果的な活用など、ICT教育を推進する体制を作る必要がある。
- 基礎学力を定着させ、生徒の学習意欲を引き出すために、引き続き指導と評価の一体化に取り組む必要がある。
- 活気ある学校、地域貢献できる学校をめざし、部活動の質の向上と活性化を図る。
- 通級指導の実施校として、成果と課題について情報を発信する。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的・対話的で深い学びを実現するとともに、ICTの活用を通して基礎学力を伸ばす。 ○「福祉の心」を育み、他者と協働して地域社会に貢献し、共生社会の実現に資する人材を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○指導と評価の一体化を推進し、多様な教育的ニーズに応える教育活動に取り組む。 ○支援教育の視点による授業づくりを推進し、総合的な探究の時間や選択科目を核にした福祉教育の充実を行う。
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の自己指導能力と他者を尊重する姿勢を育成し、問題行動の未然防止を図る。 ○生徒の特性を多面的に理解し、生徒の特徴や教育的ニーズに即したより適切で必要な支援体制の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○職員間で生徒の情報を共有し、生徒の特性に応じた適切な支援体制を構築する。 ○SC、SSW等や外部機関と連携した教育相談体制を確立し、生徒一人ひとりのニーズに応じた支援を行う。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的生活習慣を確立するとともに基礎学力を伸ばし、個性を伸ばすキャリア教育を推進する。 ○通級による指導を実践し、特性による学習上及び生活上の困難の改善、克服をめざす。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒指導と進路指導を一体化し、円滑な社会接続に必要な力を育てる活動を推進する。 ○生徒に自己理解を促すとともに、指導上の配慮を行うことで、対人関係や集団参加が円滑に進むよう努める。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ○地域等との持続可能な協働活動を推進し、未来社会で生きる必要な力の育成と生徒活動の質の向上を図る。 ○PTAや地域等と連携して活動の場を充実し、地域社会と協働する意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒会活動・部活動の活性化により、生徒主体の地域等にかかれた体験活動を推進する。 ○PTA・地域等と連携した行事・企画を積極的に推進し、社会や地域の一員として自己の役割を自覚させる。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ○学校運営協議会委員等、地域の多様な人材の意見を集め、社会にかかれた安全で安心な学校づくりをめざす。 ○組織的、計画的、継続的に校内研修を行い、教員の資質と学校の教育力の向上をめざす。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校運営協議会委員等の意見を踏まえ、既存の取組や学校運営の改善、充実を図る。 ○支援教育や今日的課題に係る研修を行い、職員の知識やスキルを向上させるとともに教育実践に活かす。